

[分類]	普及技術
[成果名]	ブロッコリー花蕾腐敗病防除にコサイド 3000 が有効である
[要約]	ブロッコリー花蕾腐敗病防除にコサイド 3000 の 1,000 倍液を散布する。
[担当]	野菜花き試験場環境部
[部会]	病虫部会

1 背景・ねらい

ブロッコリー花蕾腐敗病は近年生産現場で顕在化する傾向がみられ、出荷部位である花蕾に発病するため問題となる。コサイド 3000 は、無機銅系の薬剤であり、細菌性病害に対して防除効果が高いと考えられ、県内での防除効果を検討したところ、有効性が確認されたため今回普及技術として提案する。

2 成果の内容・特徴

(1) ブロッコリー花蕾腐敗病の防除に、コサイド 3000 の 1,000 倍液を散布する。

農薬登録内容

コサイド 3000

[一般名及び成分含有量] 水酸化第二銅 46.1% (銅として 30.0%)

[毒性] 人畜毒性：毒物、劇物には該当しない [魚毒性] B類

[ブロッコリーに対する適用登録状況 (平成 23 年 9 月 15 日現在 JPP-NET 確認)]

作物名	適用病害名	希釈倍率	散布液量 (/10 a)	使用時期	使用回数	使用方法
ブロッコリー	花蕾腐敗病	1,000	100~300 リットル	-	-	散布

3 利用上の留意点

- (1) 本剤は発病後の散布では十分な効果が期待できないため、生育期前半から予防的に実施する。
- (2) 出荷部位である花蕾部位には影響が認められていないが、葉に薬害が認められる場合があるので、炭酸カルシウム水和剤を加用するなどの注意が必要である。

4 対象範囲

県下全域

5 具体的データ

コサイド 3000 のブロッコリー花蕾腐敗病に対する防除効果及びブロッコリーに対する薬害について、平成 21 年に南佐久郡川上村現地試験ほ場および平成 23 年に野菜花き試験場場内ほ場で試験した。

いずれの試験においてもコサイド 3000 の 1,000 倍液は高い防除効果が認められた (表 1、2)。薬害は平成 21 年の試験で葉に退緑および褐色斑点を呈する薬害が認められたが、出荷部位である花蕾部位に対する影響は認められなかった。

表1 ブロッコリー花蕾腐敗病に対するコサイド3000の防除効果（平成21年、野菜花き試験場）

供試薬剤	希釈倍数	調査株数	発病株率(%)	発病度	防除価	薬害
コサイド3000	1,000	40.0	3.3	1.7	80.2	あり
Zボルドー	500	40.0	4.2	1.4	83.7	あり
無処理	—	40.0	16.7	8.6		

表中の数値は3区の平均値。

試験場所：南佐久郡川上村 現地試験ほ場 発生状況：少発生 品種：「ピクセル」

定植：7月15日 栽植密度：畦幅45cm、株間40cm 区制・面積：1区12.2㎡ 55株/区 3連制

処理方法：8月12日、19日および9月3日の4回、背負式動力噴霧器を用いて10a当たり300L散布した（グラミンSの3,000倍加用）。

調査方法：9月11日（収穫期）に、各区40株について発病の有無および発病程度を調査した。

薬害：薬害が認められるが実用上問題ない程度であった。

発病指数 0：無発病

1：花蕾の一部に発病

2：花蕾の50%未満が発病

3：花蕾の50%以上が発病

発病度 = $\Sigma(\text{程度別発病株数} \times \text{指数}) / (\text{調査株数} \times 3) \times 100$

防除価 = $100 - (\text{処理区発病度} / \text{無処理区発病度}) \times 100$

表2 ブロッコリー花蕾腐敗病に対するコサイド3000の防除効果（平成23年、野菜花き試験場）

供試薬剤	希釈倍数	調査株数	発病株率(%)	発病度	防除価	薬害
コサイド3000	1,000	26.0	0.0	0.0	100.0	なし
Zボルドー	500	26.0	0.0	0.0	100.0	なし
無処理	—	26.0	11.5	3.8		

表中の数値は3区の平均値。

試験場所：野菜花き試験場 発生状況：少発生 品種：「ピクセル」

定植：7月15日 栽植密度：畦幅100cm 条間25cm 株間40cm 区制・面積：1区6㎡ 45株/区 3連制

処理方法：8月11日、17日、24日および30日の4回、背負式動力噴霧器を用いて10a当たり300リットル散布した（グラミンSの3,000倍加用）。

病原菌の接種：8月24日にブロッコリー花蕾腐敗病菌（ $10^5/\text{ml}$ ）（野菜花き試験場保存菌株）を噴霧接種した。

調査方法：9月6日（収穫期）に、各区26株について発病の有無および発病程度を調査した。調査基準は表1に同じ。

6 特記事項

[公開] 制限なし。

[課題名、研究期間、予算区分]

- ・野菜・花き及び畑作物の新規農薬等の効果試験（北信支場）、平成21年度（2009年度）、民間受託
- ・野菜・花き及び畑作物の新規農薬等の効果試験（環境部）、平成23年度（2011年度）、県単素材開発